

令和4年第3四半期まで（1月から9月）の 火災状況について（簡易版）

★火災件数は2,886件でした（前年より35件減少）。

★火災による死者（自殺行為による死者を除く）は56人（前年より7人増加）で、そのうち65歳以上の高齢者は43人でした。

★火災による負傷者は536人（前年より49人増加）で、そのうち65歳以上の高齢者は175人でした。

★主な出火原因の上位3位は、「たばこ」が434件で最も多く、次いで「放火（疑い含む）」が414件、「ガステーブル等」が230件でした。

～令和4年第3四半期まで（1月から9月）の火災の特徴について～

★住宅・共同住宅等から出火した火災件数は、前年より減少。

⇒建物から出火した火災は2,009件（前年より58件増加）で、住宅・共同住宅等から出火した火災は1,159件（前年より25件減少）。住宅・共同住宅等以外の建物から出火した火災は850件（前年より83件増加）。

★電気設備機器による火災件数は、増加傾向。

⇒電気設備機器による火災件数は1,089件（前年より62件増加）で、全火災においても3割以上（37.7%）を占めています。